

平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ケーヨー

コード番号 8168 URL <http://www.keivo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 醍醐 茂夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役社長室長 (氏名) 実川 浩司

四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日

配当支払開始予定日

TEL 043-255-1111

平成25年11月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	90,661	△3.7	1,509	△33.9	1,833	△33.2	787	△33.5
25年2月期第2四半期	94,159	△5.8	2,282	△33.3	2,743	△29.2	1,183	△35.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	14.98	—
25年2月期第2四半期	22.45	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	95,003		38,238			40.2
25年2月期	95,404		36,796			38.6

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 38,238百万円 25年2月期 36,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	6.25	—	6.25	12.50
26年2月期	—	6.25	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	6.25	12.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	178,300	△1.4	2,480	△27.4	3,150	△26.6	1,290	△31.0	24.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期2Q	59,476,284 株	25年2月期	59,476,284 株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	6,900,044 株	25年2月期	6,899,830 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期2Q	52,576,300 株	25年2月期2Q	52,724,793 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、平成25年10月3日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成25年3月1日～平成25年8月31日)におけるわが国経済は、アベノミクスへの期待感による株価の上昇、円高の是正等景気回復に向けての動きが高まりましたが、所得・雇用情勢には厳しさが残り、海外景気の下振れ懸念などから国内景気の先行きは、依然として不透明な状況となっております。小売業界におきましても、業態間、企業間の品揃え競争、価格競争も一層激しさを増している中、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

そうした中、当社におきましては、「ふだんの暮らし総合店」づくりをさらに進め、便利な買物と安さの提供、品揃え枠の拡大に努めてまいりました。テレビCMを商品紹介やセール告知中心にするなど販売促進の強化を進めるとともに、取付交換サービス「とりつけ君」の取扱い店舗の拡大等に取り組んでまいりました。一方で作業改善機器の導入拡大など、引き続きオペレーションコストの削減も進めてまいりました。

販売面では、開発商品のチラシ掲載を増やし、テレビCMで訴求を行った結果、「ドイツオリジナル電気のこぎり」をはじめとする電動工具や「ドイツオリジナルミニトマト苗」などの園芸植物が好調に推移いたしました。夏物商品につきましては、レジャー用品や保冷用品が好調に推移した一方、冷房関連用品は低調となりました。

店舗設備では、節電や環境への配慮といたしまして、LED照明への切り替えを進め、一部の店舗を除き導入を完了いたしました。

販売拠点の強化につきましては、4月に流山セントラルパーク店(千葉県流山市)、6月に上田緑が丘店(長野県上田市)を出店したほか、5月に1店舗の閉店を行いビルド&スクラップを推進してまいりました。また5月に狭山店のリニューアルオープンを実施いたしました。

こうした取り組みを行ってまいりましたが、当第2四半期累計期間における売上高は、906億61百万円(前年同四半期比3.7%減)、営業利益は15億9百万円(同33.9%減)、経常利益は18億33百万円(同33.2%減)、四半期純利益は7億87百万円(同33.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は950億3百万円となり、前事業年度末に比較し4億0百万円減少いたしました。主な要因は商品13億23百万円、差入保証金5億34百万円の減少と、投資有価証券18億47百万円の増加などによるものです。

負債合計は567億64百万円となり、前事業年度末に比較し18億42百万円減少いたしました。主な要因は短期借入金37億88百万円の純減、長期借入金17億82百万円の返済と、支払手形及び買掛金30億10百万円の増加などによるものです。

純資産合計は382億38百万円となり、前事業年度末に比較し14億42百万円増加いたしました。主な要因はその他有価証券評価差額金11億95百万円の増加、四半期純利益7億87百万円の計上、剰余金の配当3億28百万円などによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は前事業年度末に比べ3億63百万円増加し、20億51百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益14億33百万円に仕入債務の増加額30億10百万円、たな卸資産の減少額13億23百万円、減価償却費7億2百万円を加算し、法人税等の支払額5億87百万円を減算するなどして全体では68億93百万円の収入(前年同四半期は47億15百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、敷金及び保証金の回収による収入5億62百万円と一方、有形固定資産の取得による支出8億14百万円などにより1億87百万円の支出(前年同四半期は1億73百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少額37億88百万円、長期借入金の返済による支出17億82百万円、配当金の支払額3億26百万円などにより63億43百万円の支出(前年同四半期は41億83百万円の支出)となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年4月2日に公表いたしました平成26年2月期の業績予想につきましては修正を行っております。詳細につきましては、平成25年9月27日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,688	2,051
受取手形及び売掛金	807	1,158
商品	33,708	32,384
その他	4,878	4,888
流動資産合計	41,082	40,482
固定資産		
有形固定資産		
建物	23,824	24,122
土地	11,832	11,577
その他	12,883	12,900
減価償却累計額	△24,549	△24,699
有形固定資産合計	23,991	23,899
無形固定資産		
投資その他の資産	1,871	1,735
投資有価証券	8,705	10,552
差入保証金	14,671	14,137
その他	5,689	4,798
貸倒引当金	△522	△517
投資損失引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	28,457	28,885
固定資産合計	54,321	54,520
資産合計	95,404	95,003

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,535	19,545
短期借入金	8,795	5,006
1年内償還予定の社債	550	4,550
1年内返済予定の長期借入金	3,564	10,864
未払法人税等	696	882
資産除去債務	0	7
その他	4,267	5,017
流動負債合計	34,410	45,874
固定負債		
社債	4,550	275
長期借入金	14,559	5,476
退職給付引当金	2,858	3,018
役員退職慰労引当金	7	4
資産除去債務	514	547
その他	1,708	1,568
固定負債合計	24,196	10,890
負債合計	58,607	56,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,948	14,948
資本剰余金	12,595	12,595
利益剰余金	12,093	12,552
自己株式	△3,995	△3,995
株主資本合計	35,642	36,101
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	967	2,163
繰延ヘッジ損益	186	△25
評価・換算差額等合計	1,153	2,137
純資産合計	36,796	38,238
負債純資産合計	95,404	95,003

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	94,159	90,661
売上原価	68,174	66,107
売上総利益	25,985	24,553
販売費及び一般管理費	23,703	23,044
営業利益	2,282	1,509
営業外収益		
受取利息	91	78
受取配当金	135	96
受取賃貸料	709	721
その他	343	315
営業外収益合計	1,279	1,212
営業外費用		
支払利息	202	188
賃貸収入原価	608	635
その他	6	63
営業外費用合計	818	888
経常利益	2,743	1,833
特別利益		
固定資産売却益	22	—
投資有価証券売却益	36	—
受取補償金	55	13
特別利益合計	113	13
特別損失		
固定資産売却損	36	31
固定資産除却損	67	50
減損損失	564	327
災害による損失	3	—
その他	59	4
特別損失合計	732	413
税引前四半期純利益	2,124	1,433
法人税、住民税及び事業税	1,194	770
法人税等調整額	△252	△123
法人税等合計	941	646
四半期純利益	1,183	787

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,124	1,433
減価償却費	705	702
のれん償却額	76	76
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24	△4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	161	160
受取利息及び受取配当金	△226	△175
支払利息	202	188
減損損失	564	327
固定資産売却損益 (△は益)	14	31
固定資産除却損	67	50
投資有価証券売却損益 (△は益)	△36	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△173	△350
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△507	1,323
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,516	3,010
その他	294	786
小計	5,761	7,561
利息及び配当金の受取額	149	107
利息の支払額	△201	△188
法人税等の支払額	△993	△587
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,715	6,893
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△507	△814
有形固定資産の売却による収入	45	21
資産除去債務の履行による支出	△32	—
投資有価証券の売却による収入	189	—
敷金及び保証金の差入による支出	△78	△76
敷金及び保証金の回収による収入	608	562
その他	△52	119
投資活動によるキャッシュ・フロー	173	△187
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,661	△3,788
長期借入金の返済による支出	△1,372	△1,782
社債の償還による支出	△275	△275
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△121	△170
配当金の支払額	△332	△326
自己株式の取得による支出	△421	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,183	△6,343
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	705	363
現金及び現金同等物の期首残高	1,741	1,688
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,447	2,051

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。